

日本事情入門B		講義	准教授 原田 桂
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200136

1. 授業のねらい・概要

「日本事情入門A」に引き続き、日本での留学生生活をスムーズに送れるように、身近な習慣やルールや文化の理解を深めることを目的とする。日本固有の伝統文化だけではなく、特に日本のアニメ・漫画文化はクールジャパンを代表するコンテンツとなり、他国への影響力も大きい文化産業として確立されつつある。実際に様々な作品を鑑賞してその魅力を表現できるよう学ぶ。さらに日本が抱える問題を例に挙げて自国の事情と比較しながら、それを他者へ伝えられる日本語文章能力も身に付ける。

2. 授業の進め方

写真や映像など様々な媒体を使って日本の習慣や文化を紹介しつつ、実際に学内や学外において体験しながら理解を深める。毎時配布するプリントにメモや書き込みを加えながら指定のスライド式ファイルで整理し、一冊のオリジナルノートを作成する。そのノートは定期的に提出してもらい理解度を確認する。また、学生の興味関心のある日本文化や日本での日常ルールなど、適宜リクエストに対応しながら進めていく。

3. 授業計画

1. ガイダンス（授業の概要，進め方などの説明）	9. 日本のアニメーション②（短編アニメを観る）
2. プレゼンテーション（写真，動画での紹介）	10. 日本文学演習（短編小説を読む）
3. プレゼンテーションの内容レポート提出・添削	11. 日本の冠婚葬祭のマナー
4. 日本のコーポレートスローガンとキャッチコピー	12. 公衆電話の使い方・災害伝言ダイヤル
5. 日本の伝統芸能	13. 国際郵便のルール①（年賀状を自国に送る）
6. 日本の漫画と自国の漫画（翻訳の比較）	14. 国際郵便のルール②（EMSの入力項目・料金）
7. 漫画の吹き出し作成・講評	15. まとめとオリジナルノートの点検
8. 日本のアニメーション①（ジブリ作品について）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

オリジナルノートを提出してもらうので、配布したプリントや返却した提出物など整理をしながら予習や復習するのに1時間以上は必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

添削，講評した課題や提出物などは，その都度返却し解説する。また，復習と定着に役立つよう無記名にして様々な解答パターンを授業内で紹介する他，ミニツペーパーや Google Forms で提出したコメント類なども集計し配布する。

6. 授業における学修の到達目標

- ・日本語で「読む」「書く」「話す」「聞く」ことに慣れる。
- ・日本の文化や習慣を体験して理解を深める。
- ・日本の文化と自国の文化を比較し，それを日本語で伝える能力を養う。
- ・現代日本が抱える問題を色々な角度から分析し日本語で考える力を養う。

7. 成績評価の方法・基準

課題レポート（40%），提出物（40%），授業での発言及び取り組み姿勢等（20%）とする。

8. テキスト・参考文献

毎時プリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

- ・ 辞書または電子辞書を持参すること。
- ・ プリントを利用してオリジナルノートを作成するので、指定のスライド式ファイルを毎時間必ず持参すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。